



「帯広市緑ヶ丘公園の藤棚」元米山記念奨学生 李琳さん撮影

会長 楠 英夫 幹事 楢戸 憲一

- 例会場 L'AUBE kasumigaura
TEL.029-875-8888
- 例会日時 火曜日 12:30~13:30
- 事務局 土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F
TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
- ホームページ <http://tsuchiura-south-rc.com>
- Eメール t_minami@lapis.plala.or.jp

2023~2024年度
国際ロータリーテーマ



世界に希望を生み出そう

2024年6月25日 45号
2024年6月18日 第3例会報告



地区 HP



地区行事予定

- | | | | |
|------------------------------|-------------------|---------|-------------------|
| 1. 点 鐘 | 楠英夫会長 | 7. 退会挨拶 | 齊田正一会員 |
| 2. 国歌及びロータリーソング斉唱
(奉仕の理想) | | 8. 点 鐘 | 楠英夫会長 |
| 3. 幹事報告 | 楢戸憲一幹事 | | (司会進行 山口裕由 S A A) |
| 4. 委員会報告 | | | |
| 5. ニコニコ BOX の発表 | 吉田正一副 S A A | | |
| 6. 2024-2025 年度クラブ協議会 | 栗野哲雄 2024-25 年度幹事 | | |

本日のプログラム

楠会長より「今年度の総括」でございます。

次週のプログラム

7月2日(火)は、完賀浩光年度第一例会です。
2024-25 年度各委員会事業計画と抱負についての
クラブ協議会でございます。

出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3名以上欠席卓	メイクアップ	出席率訂正
名	名	名	%	卓	卓	名	%
88	57	6	67.86	1・2・3 4・6	15・17・18	15	85.71

【委員会報告】

青少年奉仕委員会

片岡 哲 委員長

「東風高校インターアクトクラブとの合同例会開催のお知らせ」を各テーブルにお配りしております。7月6日(土) 9:30から行う予定です。詳細をご確認の上奮ってご参加ください。

【直前会長・幹事・SAA慰労会】について 栗野 哲雄 2024-25年度幹事

「直前会長・幹事・SAA慰労会」についてのご案内です。

7月9日(火) 18:00からの例会終了後開催いたします。来週6月25日(火)締切りとなっております。皆様のご出席をお待ちしております。

環境保全委員会

勝田 達也 委員長

6月15日(土)に行われた「りんりんロード清掃作業」にご参加頂いた皆様ありがとうございます。

【クラブ協議会】

進行：栗野 哲雄 2024-25年度幹事

(◎：委員長，○：副委員長)

人間尊重委員会

石神 敦子 委員長

○鈴木 常生，青木 規幸

【事業計画】

- (1) お年寄りや子供たち，障害のある方々に少しでも安心安全な住みよい社会となるように，地域社会への協力をしていきたいと思えます。
- (2) 「奉仕の機会に関する項目」として障害者支援や健康管理，環境保全などを掲げていますが，当クラブにおいても関係する団体と連携を図り，共に協力して，それらの運営に寄与していきたいと思えます。

青少年奉仕委員会

高野 和彦 委員長

○溝口 哲矢，桜井 彩，長井 雄輔，吉原 健一

【事業計画】

- (1) ローターアクト及びインターアクトの活動支援
- (2) ボーイスカウトへの活動支援
- (3) 青少年のための講演会の開催
- (4) ローター・ローターアクト・インターアクトの交流会の開催
- (5) 地区青少年委員会との連携の強化
- (6) 横の繋がりを大切にし，ローターアクト委員会・インターアクト委員会併せて1つの委員会と考える活動する。
- (7) インターアクトからローターアクトへ繋がるシステム作り
- (8) 情報の共有化
- (9) 長期青少年交換留学生の受け入れの支援

インターアクト委員会

溝口 哲矢 委員長

○稲本 修一, 的場 弘幸

【事業計画】

昨年度はコロナ禍の中で予定されていた事業は殆ど中止となってしまいました。

- (1) 市民フェスティバルへの参加
- (2) 台湾研修旅行
- (3) インターアクト年次大会
- (4) 赤い羽根街頭募金への参加
- (5) 青少年のための講演会への参加協力
- (6) インターアクト例会への参加
- (7) 各団体への協力及び参加

今年度もコロナの感染状況を見ながらこれらの事業報告が出来るかどうかの検討はこれからですが、活動が出来るよう頑張りますので、是非ともご協力を宜しくお願い致します。

ローターアクト委員会

今野 和義 副委員長

◎桜井 彩, 楠 英夫, 堀越 泰樹

【事業計画】

会員増強, クラブ活動へのサポート, ロータリアンとの関係強化, インターアクトとの連携強化であります, コロナ禍の中で思うような活動が出来ていないのが現状です。今後もコロナ禍に左右されるとは思いますが, 状況を見極めながら活動が出来ればと思っております。

- (1) ローターアクトクラブの会員増強
- (2) クラブ活動のさらなる活性化を図るために援助をします。
- (3) ロータリアンとの活動を密にし, そのパイプを強いものにします。
- (4) インターアクトの連携強化

国際奉仕委員会

君山 毅 委員長

○飯田 英治, 高野 竜也, 山岡 朋和

【事業計画】

- (1) ロータリー財団と米山記念奨学会と連携を図り, 各事業を推奨してまいります。
- (2) 国際奉仕と言ったら台湾, 台湾と言ったら国際奉仕というように国際奉仕委員会としては, 最大のイベントではないかと思っております。姉妹クラブである大甲扶輪社との交流, 並びに共同事業を推進したいと考えております。
- (3) 国際交流協会への協力。
- (4) 「この指とまれ」の提唱クラブについて検討していきたいと思っております。

ロータリー財団委員会

海老原 一郎 委員長

○高橋 信子, 清野 宏之, 鈴木 明夫

【事業計画】

- (1) ロータリー財団月間の11月を中心に, クラブ会員に財団の活動内容等を発表し財団への協力をお願いする。
- (2) 財団寄付を推進し, ポール・ハリス・ソサエティ会員, マルチプル・ポールハリス・フェロー, ポール・ハリス・フェロー, 財団の友, ベネファクターの増加を図る。
- (3) 地区のグローバル補助金等の事業に対し積極的に協力する。
- (4) 一人当たり年次寄付170ドル, ポリオプラス30ドル以上の目標達成に努力する。

米山記念奨学委員会

白井 秀治 副委員長

◎今泉 孝之, 大島 三郎, 渡邊 力

【事業計画】

- (1) 米山記念奨学会の目的・意思を深く理解して頂くよう努めます。
- (2) 特別寄付を全会員にお願いし、地区目標を達成するよう努めます。
- (3) 米山記念奨学会寄付目標を、一人当たり普通寄付・特別寄付を合わせ25,000円以上とし、クラブ内（特に10月の「米山月間」）に周知しまして皆様のご協力をお願いしたいと思います。

総括

完賀 浩光 2024-25年度会長



先週から今週と2週にわたり、各委員長からの次年度の事業計画の発表を頂きました。皆様が計画された内容を一つ一つしっかり実行出来るよう予算面も含め運営して参りたいと思います。そのためには皆様のお力添えがなければ次年度最後まで行き着くことが出来ません。重ねて皆様のご協力ご理解を賜りますよう心からお願い申し上げます。

【退会挨拶】

齊田 正一 会員



こんにちは。齊田正一で御座います。

最近、体の調子が思わしくなく医者通いも頻繁になってきましたので、皆様にご迷惑をお掛けしてはと思ひまして、2024年今期（6月）いっぱい退会させて頂くことになりましたのでよろしくお願い申し上げます。

退会のお話をしましたところ、早速プログラム委員長の米山さんから、最後に卓話と言われましたので、私の入会当時のころから順を追ってお話をさせて頂きたいと思ひます。当クラブにはおよそ46年程お世話になり、皆様のお陰でロータリー活動を楽しみ過ごすことが出来ました。大変嬉しく思っております。思い出に残る事柄は山ほど御座いますので、出来るだけお話をしたいと思ひますが、時間の関係もございますので特に思い出深い事に触れてゆきたいと思ひます。

わたくしが40歳となり、青年会議所（JC）の卒業が近くなりました頃、堀越昭二さん（宇田川石油 副社長）、酒井亨さん（弁護士）、海田恭敬さん（エタニ石油 代表取締役）の3名の方々からロータリーへの入会のお誘いをいただきましたが、私は個人経営の小さな会社で、毎週昼間の例会に出席するのがとても不安だったため、返事が遅れておりましたら、最後に“誘われるうちが花だよ”と言われ、私は一大決心を致しました。そして入会に際しまして一緒にJCを卒業した大竹芳三（大竹ウインドウ 代表取締役）さんを誘ってはいかががでしようかと思ひましてお話をしたところ、早速、快諾を得ましたので、少し遅くなりましたが昭和53年2月21日（1978年）に二人で入会をさせて頂きました。

私たち二人が入会してからは青年会議所の卒業生の中から毎年1・2名の入会希望者が御座いました。そこで、入会前に希望者をお呼びしてロータリーについて、出席・会費・奉仕等についてできる限り細かく説明をしてから入会をして頂くようにいたしました。その後も、毎年1・2名の入会希望者がおりましたので、私たちはこの説明会を4・5年つづけ、この仕組み

を後進のみなさんにバトンタッチを致しました。

さて、私たちが入会した時は、会長が内田節さん（内田卓宏会員のお父さん）、幹事が、松本好祐さん（老人ホーム等を経営）、S A Aが当クラブでは現在、最年長の海田恭敬さんでいらっしゃいました。

今、例会では毎回ロータリーソングを歌っておりますが、海田さんは良くご存じですよ、皆さんはちょっと想像つかないことと思いますが、当時はロータリーソングの他に童謡を時々歌うことが御座いました。この年齢になって童謡を歌うということは、心も奇麗になり純真な気持ちで奉仕活動等が出来るような気がいたしました。

昭和54年（1979年）菊池会長の時に、年度の途中で幹事さんが仕事の都合で務めることが出来なくなり、急に高橋安次さん（高橋信子会員のお父さん）が幹事を務めることになりました。その時に、今度は堀越さんから「副幹事になって高橋さんを手伝ってほしい」と云われ、断り切れず、つい受けてしまいました。この時に、幹事の仕事については充分とまではいきませんが勉強をさせて頂きました。

翌、昭和55年（1980年）栗山会長の年度には親睦活動委員長を仰せつかりました。後から委員の表を見たときには私よりも10歳以上も年上の方々ばかりで大変心配を致しました。当時は委員会ごとに炉辺会合（現在の家庭集会）を居酒屋等で開いたりしていましたので、私も知り合いの和室がある焼き鳥専門の居酒屋を予約したところ、全員が気持ちよく出席してくださり、大変協力的で年の差を感じることもなく会議もスムーズに終了し、後は一杯飲みながら雑談に入りました。この様に年の差を感じることなく自由に話ができる雰囲気の良いクラブは、よそには少ないだろうなと思いました。この時、小竹先生がよく話されておりました「ロータリーは仲良しクラブだよ」という言葉を思い出し、この様な時に現実となって表れたことに、とても良いクラブに入会出来て幸せだなと思うと同時に、だからこそ「親しき中にも礼儀あり」という言葉を大切にしていかなければと感じました。

同年12月10日前後だったとおもいますが、次年度の会長予定者 矢口正夫さんと、ベテランの方々に「今夜、3人（齊田、大竹さん、私達より一年後に入会した関さん）に某レストランに集まって貰いたい」という話が御座いました。そこで、どの様な話になるのか全く分からないまま、3人で出席しますと、皆さんはすでに集まっておりまして、指定された席に座りますと、ベテランの方から、「実は矢口会長年度の幹事予定者が12月になって急に出来ないと言うことになり、R Iへ今月中に報告しなければならないので、ここで3人の中から幹事を1人決めてもらいたい」と云われたのです。私は入会間もなく、又家族の事情もあってとても受けられる状態ではなく、ほかの2人も幹事を受けるのはまだまだ早いと固辞してしまい、皆さんで頭を抱えてしまいました。その後いろいろ話が出ているうちに、ある人から「齊田君は少しでも副幹事の経験があるし矢口さんとは、家も100メートル程しか離れてないから何かと便利なので、何とかならないもんかね」と言われ皆も賛同する様になってしまい、私はロータリーには「ノーという言葉は無いんだ」と言われていました。とは言え、こればかりは家族と相談しないことにはと困りましたが、その場を収めるためにとうとう受けざるを得ないこととなってしまいました。その後、ベテランの皆さんから、次々と「何か困ったことがあったら私に言いなさい、解決してあげるから」と、云われ大変心強くホットしたことが心に残っております。

いよいよ昭和56年（1981年）矢口年度が始まりました、2か月ほどたったところで、古河RCへ挨拶に行こうと云われました。そこで初めて土浦南RCのスポンサーによって古河RCが誕生したことを知りました。その後の交流については、分区も違い距離もあるということで思うように出来なかった様に思われました。

こうして、入会3年目にしての幹事という大役を、皆様の温かいアドバイスにより、大過な

く過ごさせていただきました。

昭和 61 年（1986 年）酒井年度は、我がクラブ初めての、小竹ガバナーのスタートでもありました。小竹ガバナーはロータリーに対して大変熱心で、歯科医院を 1 年間、休んでまでもロータリーに徹するとのことで、周りの人たちも自然に熱心になり、少しでも明るい素晴らしいロータリーにしたいと、会議に会議を重ねておりました。私は、地区幹事さんからガバナー公式訪問の日程表を作成してほしいと言われました。当時は、栃木・茨城が 1 つの地区であり、約 90 程のクラブがありました。栃木の距離のあるクラブには、ガバナーの健康も考えながら 1、2 泊での訪問とし、最後の 1 クラブだけは頭を下げて例会日を変更してもらい調整をしました。そして、12 月には公式訪問のすべてを無事終了することが出来、ホッといたしました。

平成元年（1989 年）頃より子クラブを作ろうと云う話が出て、当クラブより 10 人位移籍して立ち上げてはどうかと云うことになりました。そのような話が進むなか、私は 8 月初旬に難病の潰瘍性大腸炎に罹り、残念ながら即入院となってしまい、一切お手伝いをする事が出来ませんでした。この時に誕生したのが土浦中央ロータリークラブでした。（特別代表は、酒井亨会員です）

その後、平成 8 年（1996 年）には、潰瘍性大腸炎もだいぶ良くなり、体力もついてきたと思った頃、クラブの会長への推薦があり、病気で伸ばしてもらっていたため、今回はお受けすることに致しました。その後、クラブ内、地区内の役員名簿を見ておりましたら、片岡信彦さんがローターアクトの地区委員長になっておりました。そこで私は、当クラブではインターアクトは持っているが、ローターアクトは持っていなかったもので、地区に出て、肩身の狭い思いをするのではないかと考えておりました。すると、片岡さんから私に「ローターアクトを作りたい」と云うお話があり、即、賛成をいたしました。そうすると、何のことはない、既にお膳立ては出来上がっていて、会員も 22 名と大勢集めていただいていたので、年度内に土浦南ローターアクトクラブを創立させることが出来ました。

平成 9 年になりますと、古河 RC から創立 30 周年記念式典（平成 9 年 3 月 29 日）の招待状が届きまして、皆さんの御出席と同時に祝辞をお願いいたしますと云うことでした。私も会長である以上やらざるを得ないと思い祝辞を考えました。そこで、出席者を募ったところ、小竹俊夫さん・片岡司郎さん・堀越昭二さん・清野弘さん・内田節さん・黒沢弘道さん・そして稲本修一さん、齊田正一の 8 名で出席することになりました。出席者名を見ても分かる様にベテランの方々も多く、大変心強いことで、会長の職責を果たすことが出来ました。

平成 10 年（1998 年）は、ガバナー予定者が塙東男（笠間宮司）さんでしたが、小竹 P G より塙年度には根本 P G が財団で君を欲しがっているよと云われ、そのつもりで居たところ、塙ガバナーエレクトから来た委嘱状を開けて見ると、いきなり地区インターアクト委員長となっており大変ビックリしました。インターアクトには一度も携わったこともなく、お断りしようかと思いましたが、当クラブの名誉もあり、現在の地区委員長が塚本隆さん（塚本隆浩さんのお父さん）でしたので、いろいろ教えていただければ何とかなると思い受けることに致しました。

早速、塚本さんから塙年度早々に、韓国の高校（養生 [ヤンジョン] 高校、東成 [ポーソン] 学園）と交流があるから、3 月頃に連絡が取れ次第、打ち合わせに 2 人で行きましょうと云われ、即連絡を取り、3 月中旬ごろ韓国に向かいました。すると、養成高校の、巖 圭白 校長さんも、東成学園の全 晟雨 理事長さんも日本語が大変に堪能でして、会議もスムーズに進み、後は、日本の料亭に近いところで一杯飲みながら雑談に入り有意義に過ごしました。

塙年度に入り 7 月下旬には、地区内のインターアクト・引率の先生・ロータリアンと総勢 35 名程で韓国にむかいました。当地についたところ第 2550 地区の栃木のアクト達も来ており

まして、大変賑やかに、意義のある交流が出来ました。そして翌日には一行と、希望者達と合流し、2台のバスで板門店に向かいました。途中の休憩所でもう1台のバスに高校生位の生徒、20名程を引率していた方の胸にロータリーのバッヂが付いていたので、声を掛けるところ、北海道の天塩川沿いの中川RC（第2500地区）の会長 佐藤輝雄さんでした。話では、会員が11名なのでアクト等は持てなく、市で募集したものに便乗しRCで引率を引き受けたとの事で、少数精鋭で種々事業を行い、頑張っているようでした。

さらに平成11年（1999年）にも韓国に行くことになり、例年の様に2高校との打ち合わせも終わり、7月下旬に揃って出発するという二週間程前に、私が急に潰瘍性大腸炎を再発してしまいました。大変困っていたところ、前地区委員長の塚本隆さんより「僕が代役を務めてあげる」と云われ、私は藁をも掴むおもいで全てをお願いすることに致しました。その後、全員揃って出発し韓国、ソウルでの交流会等も無事終了し、ソウルよりプサンに移動したのちに、帰国の途に就くときに、台風により飛行機が欠航になり、全員が一泊を余儀無くされてしまいました。この際の宿泊費用について地区で負担してもらえるか交渉したところ、全額を負担して頂けることになり、翌日には全員無事に帰国することが出来てホッといたしました。

平成12年（2000年）には、土浦南ロータリークラブの35周年記念式典の実行委員長を受けた時には、ベテランの方々から私たちは一切口を出さないから自分の思い通りに、事業を進めていいですよと云われて責任の重大さを感じましたが、いろいろな事業と掛け持ちをしながらも、皆様の温かいご協力により無事かつ盛大に開催出来ました。誠に有難く印象に残っております。

平成12年、春の地区大会の折、ガバナーエレクトの吉澤繁雄（水戸赤十字病院 名誉院長）さんにいきなり手を握られて、次年度（2001年）の地区ローターアクト委員長をお願いすると云われ、逃げるに逃げられず受けることになってしまいました。その後、アクトの内容を見ていると、なんと当クラブの渡邊勝男さんの御長男の正嗣さんが地区代表（ガバナー役）になって居りましたので、地区内のアクトクラブを地区代表と一緒に全部回りました。ところが、アクトの例会は殆どが夜7・8時の開会ですので、終わって家に帰るのが11・12時になることが殆どでした。体調を壊すこともなく無事に終わることが出来ホッといたしました。

その後、アクトの全国大会が鹿児島で開催され、当地区からは17,8名の参加があり、私も随行致しました。地元の係りのロータリアンの方々も大勢参加して、アクトと協力し会場も大いに盛り上がり大成功でありました。この時、正嗣さんから鈴子さんと云う女性を丁寧に紹介され、チョット気になりましたが、そのまま帰宅してしまいました。

その後、どの位立ったでしょう、正嗣さんから結婚式への招待状が届き、祝辞をお願いいたしますとの事でした。そして正嗣さん、鈴子さんのお名前が並んで書かれており、長距離恋愛も見事に実らせ、結婚式も心のこもった和やかなうちに行われました。

平成12年（2000年）台湾中部の大地震のお見舞いに大甲RCを訪問しての帰り、台湾の飛行場で搭乗を待っている時に、ガバナーエレクトの片岡信彦さんから、とつぜん私に地区の会計長をお願いしたいと云われました。会計長に関しては全く頭に無かったのですが、良く考えた末に受けることに致しました。会計長の件は決まりましたが、一週間もしないうちに、古河RCのバスターガバナー西村敏彦地区諮問委員から電話がはいり、地区の新世代奉仕総括委員長を担当して貰いたいとの事でした。そこで、実は既に地区会計長を受けてしまっているのと申し上げましたが、だいぶ粘られてしまいました。そこで、困りはてた末に、地区内には委員長を出来る方は何人も居りますからと、2～3人の名前を申し上げてご勘弁を願ったしだいです。

平成 21 年（2009 年）当クラブの内藤彰ガバナーエレクトから電話で、ロータリーの友委員をお願いしたいとの事でした。この委員はガバナーの代理で「ロータリーの友」の編集にも関わるので、難しいと思いながら受けることにいたしました。地区から 1 名ずつ 34 名が全国から東京に時々集まり、友の記事・編集について話し合い、委員には毎月、出来上がった「ロータリーの友」が会員よりも 10 日程早く送られてきますので、殆ど全部を読み内容についてのコメントを書いて友事務所に送ります。すると、全地区 34 名分を 1 冊の冊子にして全員に送り返されてきます。コメントを出さないと皆に分かってしまいますので出さざるを得ませんでした。お陰で毎月「ロータリーの友」をじっくりと読むようになりました。

このような私の経験から、皆さんには、クラブ内の役だけではなく、地区内の役も大いに受けていただきたいと思っています。そうすると、自然に知り合い、友達ができますので、顔も広がってゆくと思います。

私はインターネットなどを活用し、時々ロータリーに関する情報を得ておりました。勉強になりますので皆様も是非ご利用になっては如何でしょうか。思い出話はまだまだ御座いますが、スペースの都合も御座いますので、これで終わりとさせていただきます。

最後になりましたが、土浦南ロータリークラブの益々の御繁栄、そして会員の皆様、ご家族の皆様のご繁栄・ご健勝を心よりご祈念申し上げます。つたない話で御座いましたがこれで失礼させていただきます。